

「主は私たちを一つにされる」
使徒の働き 2章(宣教要旨)
説教者 A.Na

今日は、聖霊降臨祭礼拝です！主が私たちに聖霊を与えてくださり、聖霊の働きによって、教会が誕生し、今も礼拝し続けられることに感謝しつつ、今日もみことばに耳を傾けましょう。

〈自分の中にある罪を自覚する〉

みなさんは、自分の罪を自覚していますか。人は、気づかない内に罪を犯していたなど、自分の中にある罪に気づけないことがあります。

例えば、大勢の中で誰かが注意を受けている時、私には関係ないと思い、その注意を受けている人に対して嫌悪感を抱いてしまう…そのようなことはありませんか？

〈「兄弟たち」と近くに感じつつ語りかけ…〉

ペテロは、23節で「神が定めた計画と神の予知によって引き渡されたこのイエスを、あなたがたは律法を持たない人々の手によって十字架につけて殺したのです。」と言いました。

しかし、「律法を持たない人々の手によって」とあり、彼らはまだ、イエスを殺したのが自分だとは思わなかったかもしれません。

ペテロは、父祖ダビデのことばにあるキリストの復活と、そのキリストがこのナザレ人イエスのことである、と彼らに預言の成就を語りました。そしてペテロははっきりと人々に伝えました。「神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです」と。

〈心を刺される人々〉

人々はここでやっと「これを聞いて心を刺され」ました。私がイエス・キ

リストを十字架につけたのだ。今まで起きたこと、語られてきたことは、すべて自分のためであったと、自分の罪を自覚し始めました。

そこで使徒ペテロは語ります(使徒2:38,39)。そうです。一人一人が罪の赦しを求めて悔い改め、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けるならば、だれであっても賜物として、神からの恵みの贈り物として聖霊を受けることができるのです、と。

ペテロのこのことばを受け入れた人々は、バプテスマを受け、その日三千人ほどが仲間に加えられました。そして、いつも、毎日、心を一つにして主を礼拝していました。ここから、主によって集まる教会が始まりました。

しかし、その時ペテロの語ったことばを受け入れなかった人々もいたかもしれません。そのような人々にも、主は語りかけ、主は招き続けられています。

〈私たちに聖霊は与えられている〉

主は私たち主を信じる者に聖霊を与え、聖霊が、私たちを一つにし、私たちを用いて人々のたましいを救い、みんなを一つにしてくださいます。すべては主のみわざ、聖霊の働きです。罪を悔い改め、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けることは私たちにとって最高の神様からのプレゼントです。

主は、今日も救われる人々を加えてくださいます。そして聖霊を与え、私たちを日々主のもとへと導いてくださいます。

聖霊を受けた私たちは、十字架の主を仰ぎ見て、主のみそばにいつもいられるようにと、心一つに祈りましょう。

